

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R8	監査委員事務局	原田 研治

1 部の経営方針（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	経営方針・取組の方向性（業務、組織、人材に関するマネジメント目標を含む）
1	市民からの信頼をベースに住民福祉の増進に積極的に取り組んでいく自治体であり続けることができるよう、違法又は不適正な事務処理の指摘にとどまらず、指導に重点を置いて、宇部市監査基準に基づき、適切に監査等を実施する。
2	各部等に対してどのようなアプローチが必要なのか、また、必要とされているのかを意識し、効果的な監査等を実施する。
3	定期監査で見受けられた不適切な事例の内容や傾向等を踏まえ、各部等の職員が自らの課題として認識し、適正な事務処理に向けた取組を進めるとともに、業務プロセスの見直し、手法の改善などを主体的かつ継続的に行うよう、積極的に働きかけを行うことにより、市職員全体のスキルアップにつなげる。
人財育成・内部統制	財務に関する事務及び公営企業の経営に係る効率的な監査の実施に資するため、内部統制に依拠した監査に取り組む。

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R8	監査課	福岡 俊昭

1 課の使命

市民生活、まちづくりにおいてどのような責務を負っているか、存在理由

事務の管理や執行処理等について、法令に適合し、正確であることに加え、経済的、効率的かつ効果的に行われているかどうか、宇部市監査基準に基づき、適切に監査等を実施する。監査等に当たっては、違法又は不適切な事務処理の指摘にとどまらず、職員自らが事務処理ミス等の防止や業務プロセス、手順の見直し、改善等を組織の課題として認識し、対応するよう働きかけを行う。

2 課の目標

No.	使命を果たすために目指す状態、到達点	関連計画	指標(単位)	最終目標 (最終目標年度)	R7実績(見込)	R8目標
1	市民からの信頼が得られ、より効果的・効率的な行政運営	個別計画(監査計画)	定期監査等の実施	効果的・効率的な実施	(重点項目) ①契約事務 ②支出事務 ③財産管理事務	(重点項目) ①契約事務 ②収入事務 ③支出事務
2	適正かつ健全な市及び公営企業の財政運営	個別計画(監査計画)	決算審査・健全化指標審査	監査委員審査 意見書提出	決算調製様式、 係数、健全化 指標の審査	決算調製様式、 係数、健全化 指標の審査
3	職員自らが事務処理ミス等の防止を組織の課題として認識し、適正化に向けた業務の見直し、改善などの主体的な取組の展開	個別計画(監査計画)	事務の適正執行への支援	効果的・効率的な事務執行への支援	効果的・効率的な事務執行への支援	効果的・効率的な事務執行への支援
人財育成/内部統制	財務に関する事務及び公営企業の経営に係る効率的な監査の実施に資するため、内部統制に依拠した監査に取り組む。					

3 課の人的資源(R8.4.1時点)

正規職員	うち定年延長	うち再任用	
5	2	0	

会計年度職員	臨時職員
0	0

4 R8年度の主な取組（※重点順）

目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
1	定期監査の実施	—	—	2,502千円	地方自治法第199条及び宇部市監査基準に基づき、市等の事務の管理及び執行等が法令に適合し、正確で、経済的、効率的かつ効果的な実施を確保しているかを監査する。
	R8年度取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	R8年度監査計画に基づき、定期監査等を実施する。過去3か年における定期監査で見受けられた不適切な事例の傾向から、令和8年度は契約事務、収入事務及び現金取扱事務、支出事務の3点を重点項目とする。また、局内職員は積極的に研修に参加するほか、監査の過程における疑問点などは局内で協議を重ね、監査スキルのアップを図る。				
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
2	決算審査・健全化指標審査	—	—	2502千円(再掲)	地方自治法第233条第2項及び地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された決算その他関係書類が、法令に適合し、かつ、正確であるかを審査する。
	R8年度取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	R8年度監査計画に基づき、R7年度決算審査・健全化指標を審査する。				
目標No.	事業名・取組名	市長方針書	未来PJ	R8予算額(千円)	事業実施の必要性(市民にとって何が良くなるか、まちがどう変化するか)やボトルネック
3	事務の適正執行への支援	—	—	2502千円(再掲)	ミスなく確実に事務処理を行うために、職員自らが事務処理ミス等の防止を組織の課題として認識し、適正化に向けた業務の見直し、改善等の取組を主体的かつ継続的に行うよう働きかける。
	R8年度取組内容(何をするか簡潔・明瞭に)				取組の進捗を測る目標(アウトプット指標)
	定期監査における指摘事項等を踏まえ、職員の問題意識の高揚と知識習得のために、市が実施する実務研修への積極的な協力や支援を行う。また、不適切な事項については、講評後の処理状況報告により改善状況を把握するとともに、監査の過程で見受けられた軽微な注意事項についても、問題点を投げかけ、実務担当者自身の業務改善に向けた認識を促すことにより、内部統制の運用が機能するよう支援する。				